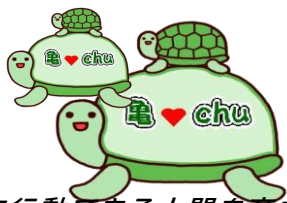




令和8年9月7日発行

電戸中だより



亀中ホー
ムページ
クリック



本校教育目標 「思いやりの心を持ち、主体的に行動できる人間を育成する」
「探究」「敬愛」「挑戦」

4月から7月までの亀中の教育活動をまとめました。生徒たちの生き生きとした活動の様子をぜひご覧ください。

本校は一人一人の生徒が「みんな、ががやく！」学校を目指しています。



入学式(4月8日) 校長式辞

146名の新生生の皆さん、ご入学おめでとうございます。先輩方は思いやりの心を持ち、主体的に対話し、地域活動にも尽力して信頼を築いてきました。今日からは皆さんがこの伝統を受け継ぐ主役です。

皆さんに贈りたい言葉は、『『失敗』と書いて『成長』と読む』です。新たな経験のなかで失敗を恐れず、挑むプロセスを大切にしてください。上手くいかない経験もすべて大切な成長のステップです。教職員一同、皆さんの「伴走者」として全力で応援します。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。思春期を迎えるお子様の歩みを、ご家庭と学校が手を携えてともに支えていければと存じます。

新生生の皆さんの学校生活が希望に満ち、輝かしいものとなることを願い、式辞といたします。



運動会(5月30日)「史上最高」の感動をありがとう！～主役達が輝いた日～ 校長講話

近隣・保護者の皆様、先日は本校の運動会を温かく見守っていただき心より感謝申し上げます。皆様の深いご理解と温かい拍手のおかげで、子ども達は舞台上で最高の輝きを放つことができました。

生徒会スローガン「水滴石穿」の通り、地道な努力が大きな感動を生んだ一日となりました。全力でグラウンドを駆け抜ける姿や、係活動に励む姿勢には確かな主体性があふれていました。

何より胸を打ったのは「誰かのために全力になれる強さと優しさ」です。ゴールを目指す仲間へ声を枯らして声援を送り、悔し涙を流す友を称え合う姿など、会場は温かい一体感に包まれました。

「失敗と書いて、成長と読む」。悔しさを仲間と乗り越えた経験は、生徒達を大きく成長させました。相手を思いやり行動できる強い絆は、将来地域を照らす光になると確信しています。

この感動を糧に、今後も一人一人が主役として輝ける学校づくりに邁進してまいります。引き続き温かい応援をよろしくお願いいたします。





移動教室 長野県白樺高原 第2学年(6月23日～25日)・6組(7月1日～3日)
響け！白樺の空へ！水滴石穿、みんなが主役の3日間

生徒たちはスローガン「水滴石穿」を胸に、3つの目標を立派にやり遂げました。

- ・探求：五感を澄ませ、豊かな自然と文化から自発的に学びを深めました。
- ・敬愛：困っている仲間を助け合い、集団としての一体感を高めました。
- ・挑戦：「『失敗』と書いて『成長』と読む」を体現し、進んで行動しました。

帰校した生徒たちの凜とした表情や笑顔には大きな充実感が溢れていました。一步一步重ねた努力は一生モノの感動と確かな絆へと結実しています。

この経験で得た自信を今後の学校生活や地域でいかしてまいります。今後とも生徒たちを温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

